



保健師

地域、学校、企業などで乳幼児から高齢者まで、あらゆる人々の健康をサポートする

しごとの内容

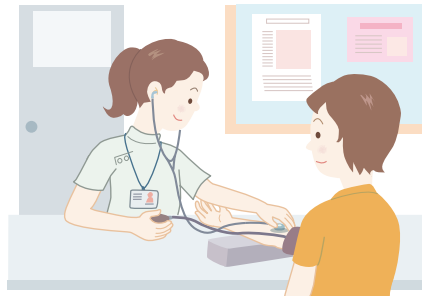
乳幼児から高齢者に至るまでのあらゆる人々を対象とし、健康な日々を送ることができるよう、手助けをします。

学校や保健所、企業といった場所での保健指導（集団検診や健康相談）、似たような健康の悩みを抱えている人のネットワークづくり、疾病予防のアドバイスなどのほか、子育てに悩む母親などからの相談への対応、在宅の療養者を訪問し、必要な関係機関と連携を図るなどさまざまな業務を行っています。

保健師は、働く場所により①地域保健師、②学校保健師、③産業保健師などに分類されます。

- ①地域保健師は、都道府県の保健所や市町村の保健センターなどで地域住民の病気の予防活動、健康増進活動、病人のいる家庭へのアドバイスなどを行います。対象者は地域に住むすべての住民ですから、新生児、乳幼児、妊婦、大人、高齢者、障害者など、さまざまな人たちに保健指導を行います。とくに保健所で働く場合、精神障害者、身体障害者、難病患者、結核患者、エイズ患者などへの保健指導や、SARS（重症急性呼吸器症候群）、新型インフルエンザに対しての危機管理などもあり、専門的、かつ広域的な対応が求められます。

- ②学校保健師は、名前のとおり学校に在籍し、学校の教職員や児童・生徒の健康管理を行います。健康診断や健康観察などにより児童・生徒の心身の健康を守り、病気やけがなどの際には、応急処置も行います。



- ③産業保健師は民間企業で働く保健師で、従業員の健康維持や健康管理を行います。

主な職場

学校、病院、検診センター、クリニック、民間企業、保健所、保健センター、大学

将来性

心身の健康の維持・増進は従来にも増して人々の関心を集めているため、これからも将来性は十分です。

従事者数

4万5,028人（2011年12月現在）

勤務形態

日勤・夜勤、常勤・パートタイマーなど働く場所や、働く者の条件により多種多様となっています。

給与水準

公務員やこれに準じた関係機関は、公務員給与規定にもとづきます。民間の病院や企業などではバラつきがありますが、公務員並みか、その前後のことが多いようです。

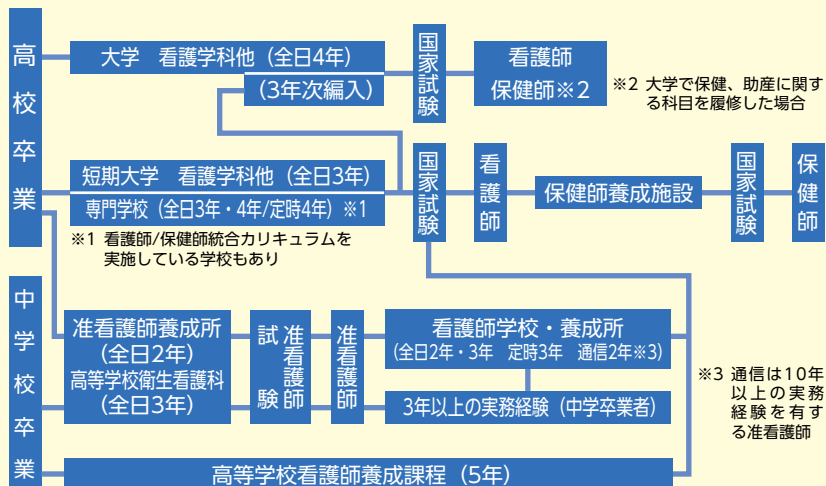
資格取得のルート

次の①～③のいずれかに該当する人は保健師国家試験の受験資格を得ることができ、この試験に合格し、厚生労働大臣の免許を得て保健師の資格を取得します。

なお、保健師の免許は看護師国家試験に合格している必要があります。

- ①文部科学大臣指定の学校で1年以上保健師になるのに必要な学科を修めた人
- ②厚生労働大臣指定の保健師養成所を卒業した人
- ③外国の保健指導の業務に関する学校、または養成所を卒業し、もしくは外国で保健師免許に相当する免許を取得したもので、①～②に掲げる者と同等以上の知識と技能を有するものとして厚生労働大臣の認定を受けた人

<資格取得のルート>

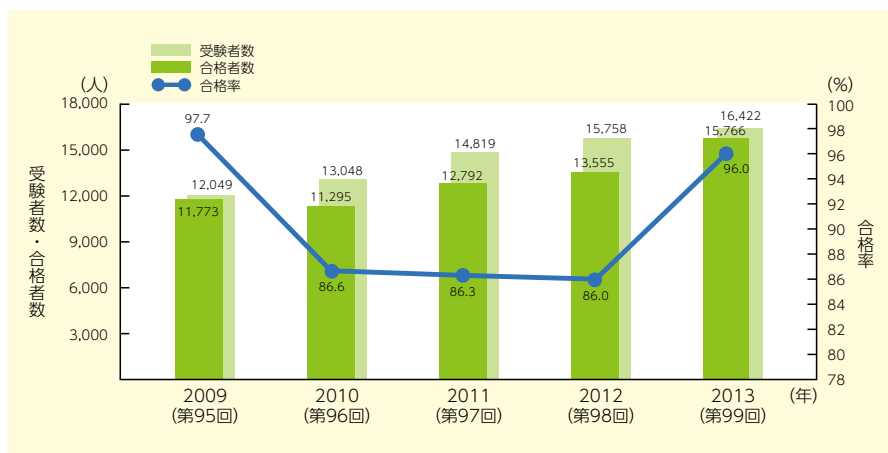


資格取得のポイント

保健師になるには保健師国家試験のほか、看護師国家試験にも合格しなければならないことになっているため、両方の国家試験の受験資格が必要となります。

資格取得のルートはおおむね2通りあり、①看護師の基礎教育を終えた人が入学して保健師の専門教育を受ける保健師学校に通うルート、②保健師・看護師統合カリキュラムを採用した学校で保健師の受験資格を得るルートです。保健師・看護師統合カリキュラムを採用した学校の多くは看護系大学ですが、なかには統合カリキュラムを採用している看護専門学校などもあります。

合格者状況



試験の概要

試験科目	①公衆衛生看護学 ②疫学 ③保健統計学 ④保健医療福祉行政論
試験日	年1回、2月中旬
試験地	北海道、青森、宮城、東京、愛知、石川、大阪、広島、香川、福岡、沖縄
申し込み期間	11月下旬～12月下旬
受験手数料	5,400円

関連団体・組織

日本保健師連絡協議会

<http://www.zenhokyo.jp/work/nihonhokenshi.shtml>

日本看護協会

<http://www.nurse.or.jp/>

全国保健師教育機関協議会

<http://www.zenhokyo.jp/>

日本看護系大学協議会

<http://www.janpu.or.jp/>